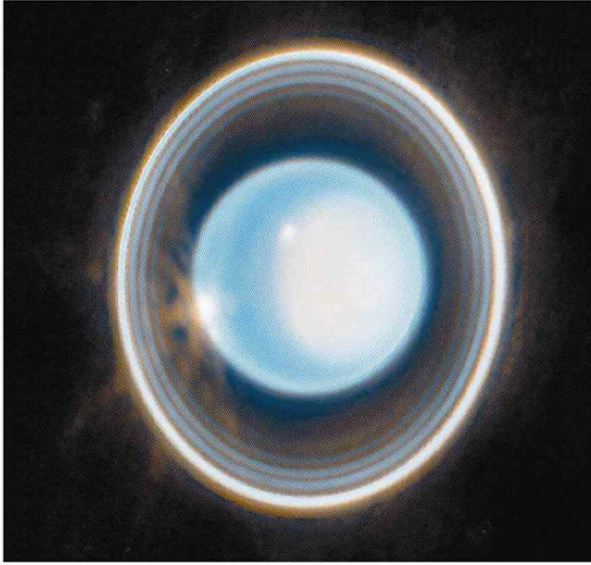




年 組 名前

# 道新でワークシート



【ワシントン共同】米航空宇宙局（NASA）は、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡で撮影した天王星の画像を8日までに公開した。幾重にも取り囲む輪や、北極付近を覆う高高度の雲とされる明るい極冠が赤外線観測で描き出さ

## 天王星 輪くつきり

NASA  
画像公開

れた。太陽の周囲を1回りするのに84年かかる天王星の北半球では春が終わり、2028年に夏至を迎える。

内側にうつすら見える輪は「ゼータリング」。1986年に近くを通った探査機ボイジャー2号が見つけた。極冠の端などの一層明るい部分では嵐が起きているようだ。

自転軸がほぼ横倒しのため、極域では42年間ずっと日が照り、次の42年は暗闇で、激しい季節の差ができている。複雑な磁場もある不思議な惑星だ。

形成史や組成を明らかにしようと、米国には13年かけ探査に向かう「ウラヌス・オービター・プローブ」構想がある。

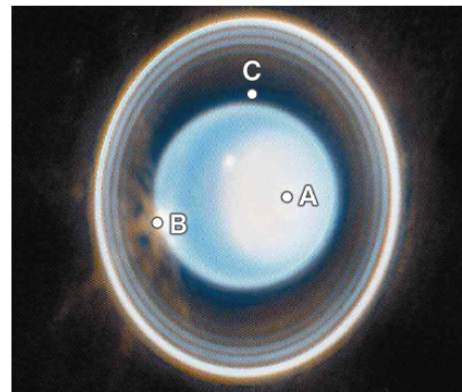
6日に公開されたジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡で撮影した天王星。右側の白っぽく明るい部分が北極付近を覆う極冠（NASAなど提供・共同）

2023年4月9日（日）朝刊 全道版 26ページ（記事は再編集しています）

① 次の文章は、天王星についての説明です。（ ）に合う言葉を文中から見つけて書きましょう。

- ・幾重にも（ ア ）で囲まれている。
- ・太陽の周りを1回りするのに（ イ ）年かかる。
- ・自転軸がほぼ（ ウ ）になっているため、激しい（ エ ）の差ができています。
- ・複雑な（ オ ）がある。

② 北極の位置は、写真のA～Cのうちどの辺りと考えられますか。記号で答えましょう。



③ 天王星の北半球は、2028年に夏至を迎えます。春分は何年に迎えたでしょう。